

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果

令和2年3月31日時点

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を公表します。

【荒川区】

No	建築物の名称	建築物の位置 ¹	建築物の用途 ²	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 ^{3,4}				安全性の評価 ⁵ ()	耐震改修等の予定		備考
					Is/ Iso	1.02	$C_T \times S_D$	0.66		内容	実施時期	
1	荒川区立瑞光小学校	南千住1-51-1	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.02	$C_T \times S_D$	0.66			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.00	$C_T \times S_D$	0.67			改修済
2	荒川区立第二瑞光小学校	南千住5-8-1	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.12	$C_T \times S_D$	0.67			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.00	$C_T \times S_D$	0.48			改修済
3	荒川区立第三瑞光小学校	南千住7-9-1	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.09	$C_T \times S_D$	0.78			改修済
4	荒川区立第六瑞光小学校	南千住1-4-11	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.01	$C_T \times S_D$	0.72			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.47	$C_T \times S_D$	0.33			改修済
				7	文部省による「屋内運動場等の耐震性能診断基準(平成8年版)」	Is	0.77	q	1.41			改修済
5	荒川区立第二峡田小学校	荒川2-30-1	小学校	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2001年改訂版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.04	$C_T \times S_D$	0.52			改修済
6	荒川区立第三峡田小学校	荒川1-43-1	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.43	$C_T \times S_D$	0.30			改修済
				7	文部省による「屋内運動場等の耐震性能診断基準(平成8年版)」	Is	0.76	q	2.01			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.04	$C_T \times S_D$	0.38			改修済
7	荒川区立第四峡田小学校	町屋2-11-6	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.02	$C_T \times S_D$	0.62			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.00	$C_T \times S_D$	0.72			改修済
8	荒川区立第五峡田小学校	町屋3-17-24	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.05	$C_T \times S_D$	0.73			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.00	$C_T \times S_D$	0.65			改修済
9	荒川区立第七峡田小学校	町屋8-19-12	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.04	$C_T \times S_D$	0.75			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	3.43	$C_T \times S_D$	2.43			既存耐震性有
10	荒川区立第九峡田小学校	荒川6-8-1	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.01	$C_T \times S_D$	0.72			改修済
				7	文部省による「屋内運動場等の耐震性能診断基準(平成8年版)」	Is	0.72	q	2.2			改修済

11	荒川区立尾久小学校	東尾久5-6-7	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.01	$C_1 \times S_D$	0.71			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.02	$C_1 \times S_D$	0.39			改修済
12	荒川区立尾久西小学校	西尾久5-27-12	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.09	$C_1 \times S_D$	0.61			既存耐震性有
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.67	$C_1 \times S_D$	0.72			既存耐震性有
13	荒川区立尾久第六小学校	西尾久8-26-9	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.02	$C_1 \times S_D$	0.74			既存耐震性有
14	荒川区立赤土小学校	東尾久2-43-9	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.05	$C_1 \times S_D$	0.31			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.02	$C_1 \times S_D$	0.75			改修済
				7	文部省による「屋内運動場等の耐震性能診断基準(平成8年版)」	Is	0.87	q	2.22			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.02	$C_1 \times S_D$	0.31			改修済
15	荒川区立大門小学校	町屋4-27-8	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.01	$C_1 \times S_D$	0.73			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.02	$C_1 \times S_D$	0.75			改修済
16	荒川区立尾久宮前小学校	西尾久1-4-17	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.00	$C_1 \times S_D$	0.73			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.00	$C_1 \times S_D$	0.73			改修済
17	荒川区立第一日暮里小学校	西日暮里3-7-15	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.02	$C_1 \times S_D$	0.44			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.07	$C_1 \times S_D$	0.32			改修済
18	荒川区第二日暮里小学校	東日暮里5-2-1	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.39	$C_1 \times S_D$	0.99			既存耐震性有
19	荒川区立第六日暮里小学校	西日暮里6-35-16	小学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.08	$C_1 \times S_D$	0.55			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.07	$C_1 \times S_D$	0.61			改修済
20	荒川区立第一中学校	荒川1-30-1	中学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.07	$C_1 \times S_D$	0.40			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.23	$C_1 \times S_D$	0.31			改修済
21	荒川区立第四中学校	荒川6-57-1	中学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.01	$C_1 \times S_D$	0.376			改修済

22	荒川区立第五中学校	町屋1-37-16	中学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.01	$C_T \times S_D$	0.49			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.50	$C_T \times S_D$	0.43			既存耐震性有
23	荒川区立第七中学校	西尾久4-30-28	中学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.01	$C_T \times S_D$	0.73			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.28	$C_T \times S_D$	0.33			改修済
24	荒川区立第九中学校	東尾久2-23-5	中学校	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.01	$C_T \times S_D$	0.49			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.04	$C_T \times S_D$	0.47			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.23	$C_T \times S_D$	0.62			改修済
				5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.01	$C_T \times S_D$	0.49			改修済
25	荒川区民会館(サンパール荒川)	荒川1-1-1	集会場 公会堂	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1990年版)に定める「第2次診断法」	Is/ Iso	1.52	$C_T \times S_D$	0.82			既存耐震性有

公表内容は、建築物の所有者から報告された結果を転記したものである。

- 1 建築物の位置については、報告された住居表示で記載している。
- 2 建築物の用途については、要緊急安全確認建築物の要件(建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令附則第2条)に定める用途(同施行令第8条第1項第1号から第19号)に該当する主な用途を記載している。
- 3 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物各階・各方向の最小の値を記載している。
- 4 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z, R_t, G, U)は、備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。
- 5 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成31年1月1日国住指第3209号別表に当てはめたものである。

- ・大規模地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - ・大規模地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - ・大規模地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
- 震度6強から7に達する程度の大規模の地震

いずれの区分に該当するものであっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷するおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。